令和6年11月23日開催 犬山市議会市民との意見交換会
～皆さんのご意見とその回答～

たくさんのご参加、ご意見ありがとうございました。

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、「市民との意見交換会」を開催いたしました。

第1部では、東海テレビアナウンサー　庄野俊哉氏による「地域を繋ぐコミュニケーション力」と題した講演会、第2部では常任委員会ごとにテーマを設け、皆さんの声を直接伺う形で意見交換を行いました。

分科会でいただいたご意見の一部を紹介します。

総務委員会　犬山暮らしを自慢しよう！

出席委員：正岡村千里、副大沢秀教、増田修治、鈴木伸太郎

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	犬山市が災害に強いとされていること。 適度に自然があり、大雨の際に田んぼが自然の調整池の役目をしていると思う。	南海トラフ地震が起きた場合、犬山市は震度5強程度との想定がされております。また、地形が扇状地であることから、水害が起きても水が引きやすいなど、自然災害に強いと考えます。しかしながら、想定外にも備えることは大切です。優良な田園地帯を守ってきた経緯も鑑みながら、これからのまちづくりを考えていくことが我々の責務と考えます。
2	駅西交差点の地下道が使われていないように思えるが必要か。	段差があるので、高齢者には向きませんが、高校生等が通学時に利用しています。地下道の管理は愛知県になりますが、展示などのイベントを行うことはできるようですので、そういった活用の提案に期待したいと思います。
3	名古屋に近く、住宅も安くて住みやすいと思う。	犬山市は、日本の三大都市のひとつである名古屋市まで電車で約25分、車で1時間と都市部へのアクセスがよく、市内や近隣には大きな病院やショッピングセンターがあり、働き口もある上に豊かな自然が残されています。 また、高速道路も付近にあり、市外県外へお出かけやレジャーも楽しめる他、市内には国宝犬山城など歴史的文化資源が豊富にあることがまちの魅力と考えます。
		犬山市には、名鉄の駅が7つあり、犬山線と小牧線の両方で名古屋に行くことができます。住環境、子育て環境などを魅力としてアピールできたら良いと考えます。

民生文教委員会　犬山のスポーツについて語ろう

出席委員：正久世高裕、副玉置幸哉、丸山幸治、光清毅、島田亜紀、岡　覚

No	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	ボッチャは、障害者や高齢者でも取り組みやすく、普及に努めたいが、活動できる場所が少ない点が課題である。	生涯スポーツのために、市としてボッチャなどのニュースポーツの普及に取り組むことは重要であると考えます。スポーツの多様化に伴い、その活動場所を確保していくことが、今後の課題であると考えます。
2	高齢者の健康づくりのための運動を普及させたいが、行政からの理解や支援が不十分であると感じる。かつては「健康市民づくり」のため、市として取り組んでいたが、現在はどうなっているのか。	市では平成26年に「健康市民づくり」を宣言し、現在も各種事業に取り組んでいます。また、地域には健康づくりのための運動を指導できる方がたくさんいます。市としてこうした方々を登録し、高齢者サロン等の場で、地域の方が指導を受けやすい仕組みつくりが必要だと考えます。
3	近くに活動場所がない地域も多く、高齢者は交通手段の確保が必要だが、わん丸君バスは乗りたいタイミングで乗れない。市として対応策はないか。	バスの運行時間は限られており、自由に移動できないという声は多く聞かれます。スポーツや他の活動のための移動手段をどう確保していくかは、今後も検討していく必要があると考えます。
4	障害者が利用しやすいスポーツ環境が少ない。市内にはサウンドテーブルテニスの協会が活動しているのと、ぽんぽこの利用者が陸上大会に参加している程度で、もう少し障害者がスポーツができる環境を整備してほしい。	まずは市民のニーズを把握することが重要であると考えます。町内会へのアンケートなどを行い、障害者スポーツに限らず、地域ごとに足りないものや不足しているものを明確にする必要があると考えます。
5	全国大会出場者激励費は1人あたり年1回しか申請できず、金額も過去から1万円のままで、交通費の上昇や物価高騰の影響が反映されていない。見直しをしてほしい。	激励費が交通費とイコールであるとは考えていないため、物価高騰の影響で、激励費の金額を上げることは難しいと考えます。

建設経済委員会　木曽川へGO！

出席委員：正小川清美、副畑竜介、小川隆広、諏訪毅、沼靖子、柴山一生

No	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	犬山遊園駅から栗栖までの道路が狭く、歩行者、運転者ともに危険を感じるため、道路整備や自転車通行指導帯の設置を望む。	当該地は、自然公園法、河川法、文化財保護法など様々な法律が関わっているため、整備が難しいですが、現在の状況については課題と捉えていますので、引き続き改善策を研究していきます。
2	木曽川中流域で連携を高め、イベントを共有するために、各会場に、特設掲示コーナーがあると良い。各イベント関係者と行政、民間機関で定期的な情報交換の場を設けてほしい。	犬山市は5市2町でつくる木曽川中流域かわまちづくり協議会や4市1町でつくる木曽川中流域観光振興協議会に参加しています。にぎわい創出と持続可能な観光地域づくりを目指し、研究・働きかけを進めていきます。
3	桃太郎神社でも七五三の祈祷ができるということの周知が不足するなど、栗栖を盛り上げるために、神社の整備、宣伝、城下町からの観光客の誘導が必要ではないか。	委員会では、市民からの請願を受け「桃太郎の日」の制定に向け、栗栖地域の皆様と意見交換・情報共有を重ねています。まずは、これを契機として栗栖地区の活性化に期待したいと考えます。
4	鵜飼舟の船頭が不足している。運行ができなければ、仕出し弁当などの発注も減り、多方面の経済にも影響する。船頭を確保するための様々な施策を考える必要がある。	船頭不足は深刻な課題と捉えていますので、労働条件の改善や留学生を含む大学生の採用など、行政等への提言など積極的に関わっていきます。
5	木曽川河畔にお茶を飲んだり、食事ができる素敵な店が欲しい。また、内田日曜朝市の駐車場が少ないため、対策が必要。	市では現在、かわまちづくり計画を策定中であり、木曽川河畔の更なる魅力づくりに向けて、研究をしてまいります。 駐車場については、周辺が民有地のため直ちに解決は難しいと考えます。